

1 給付金（単独支援給付金支給事業）の概要について

○ 趣旨・概要

地域の関係者間の合意の上、地域医療構想に即した病床機能再編を実施する場合、**減少する病床数に応じた給付金**を支給することにより、**地域医療構想の実現に向けた取組を支援**することを目的とするもの。

○ 支給対象（主な要件）

平成30年7月1日時点の病床機能が**急性期機能等**として報告された**病床数の減少を伴う「病床機能再編に関する計画」**（※）に基づき行う**病床機能の再編**であること。

※ 「病床機能再編に関する計画」は、地域医療構想調整会議の議論の内容及び岩手県医療審議会の意見を踏まえ、地域医療構想の実現に向けて必要な取組であると県が認めたものであること。

2 今般の病床再編について

○ 病床再編の概要

令和5年度中に、**ひがしやま病院**の**全病床（急性期44床／現在はいずれも休床）を減少**させるもの。

※ 給付金の対象となる可能性のある医療機関に例年応募の意向を照会している中（これまで当圏域では事例なし）、今般、ひがしやま病院において申請の意向であるもの。

3 地域医療構想（R7必要病床数）と病床機能報告の比較

機能区分	稼働病床数		R7 必要病床数	差引 d = b - c
	R3報告 a	R4報告 b		
急性期	674	672	278	394
回復期	259	247	290	▲43
慢性期	260	260	237	23
その他	58	44	-	-

※ 減少させようとする**急性期機能**について、両磐圏域では、**R7必要病床数**に対して**稼働病床数の方が多い**状況

病床機能再編に関する計画（ひがしやま病院）

	許可病床							稼働病床						
	対象3区分					回復期	休棟等	対象3区分					回復期	休棟等
	A	B	高度急性期	急性期	慢性期			c	d	e	f	g		
			C	D	E									
①平成30年度病床機能報告	44	44		44				44	44		44			
②再編後の病床数	0	0		0				0	0		0			
① - ②	▲ 44	▲ 44	0	▲ 44	0	0	0	▲ 44	▲ 44	0	▲ 44	0	0	0
病床再編の年度内訳														
令和2年度	0	0						0	0					
令和3年度	0	0						0	0					
令和4年度	0	0						0	0					
令和5年度	▲ 44	▲ 44		▲ 44				▲ 44	▲ 44		▲ 44			
令和6年度	0	0						0	0					
令和7年度	0	0						0	0					
計	▲ 44	▲ 44	0	▲ 44	0	0	0	▲ 44	▲ 44	0	▲ 44	0	0	0

地域医療構想の実現に向け必要な病床削減である説明

両磐区域は、岩手県地域医療構想の平成37年度（令和7年度）における必要病床数と、令和元年度病床機能報告の許可病床数を比較した場合、急性期病床が過剰な状況であり、両磐区域の病床数の適正化のため、当病院の急性期病床を削減しようとするもの。